

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成27年5月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査②】)

【陸域生態系（鳥類）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市 港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

- 1. 調査概要 I - 1
- 2. 工事の実施状況 I - 2
- 3. 調査結果の概要 I - 3

II 事後調査結果

- 1. 陸域生態系（鳥類） II - 1

I 事後調査の概要

1. 調査概要

平成 27 年 5 月（陸域生態系（鳥類））の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

なお、「大阪湾新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく調査実施年度は平成 26 年度であるが、補完調査として平成 27 年 5 月、6 月に実施する。

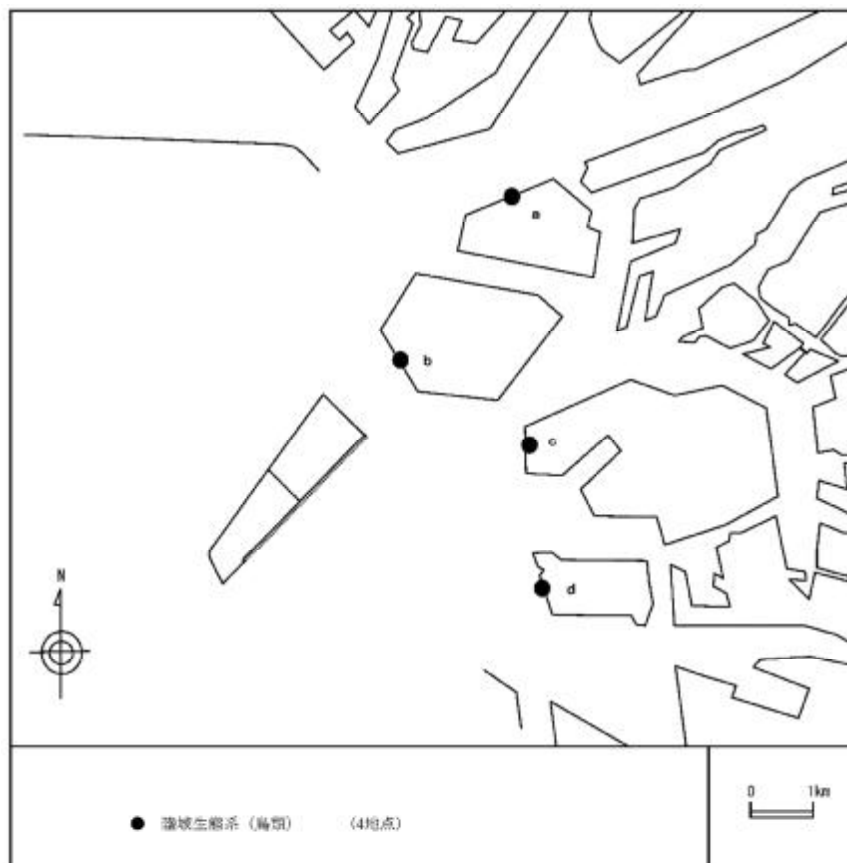
表－1 事後調査の概要（平成 27 年 5 月）

埋立地周辺における調査

(1) 陸域生態系（鳥類）表－1

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点 【a, b, c, d】	5月15日 (※)	4回／年（2年おきに実施） （平成27年度は5月、6月に実施）

※「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」の基づく調査実施年度は平成26年度であるが、補完調査として平成27年5月、6月に実施する。

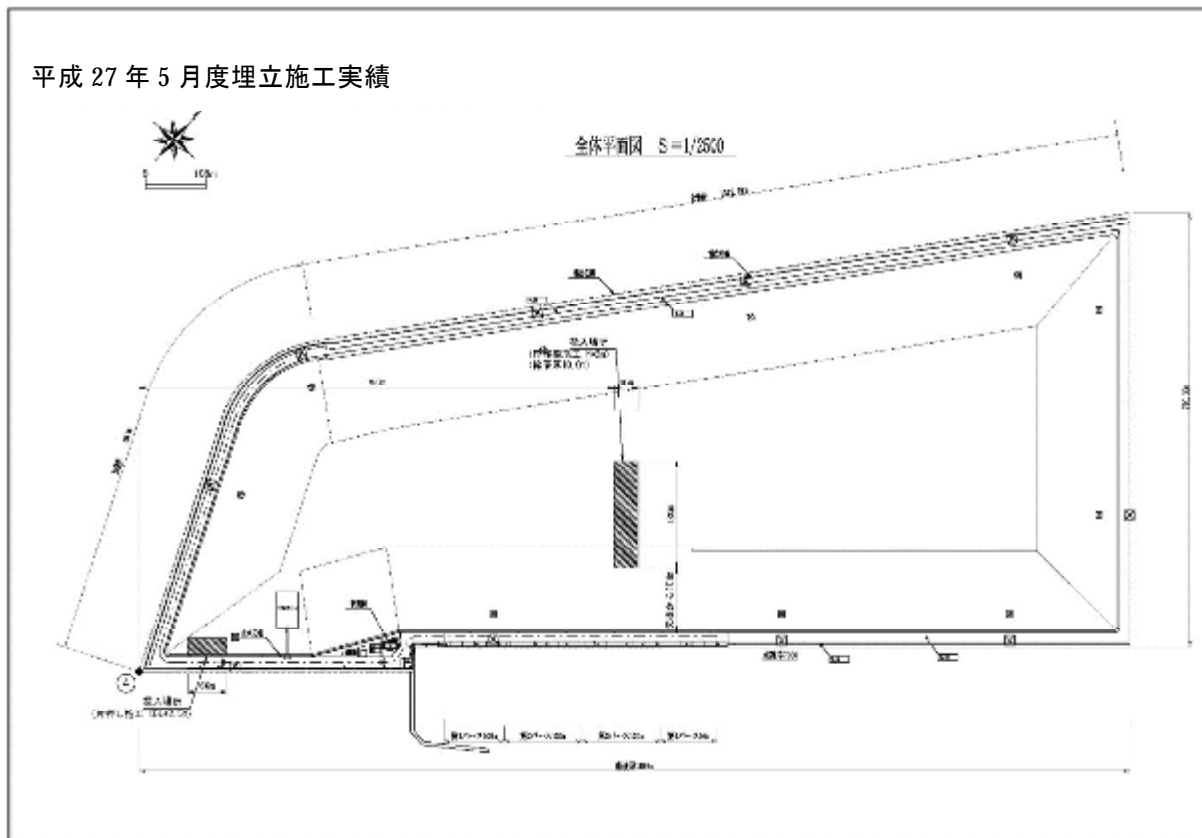


図－1 陸域生態系（鳥類）の調査地点（平成 27 年 5 月）

2. 工事の実施状況

平成 27 年 5 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。

大阪沖処分場平面図



埋立量(m ³)	進捗率(%)
3,228,755	23.1

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (平成 27 年 5 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 陸域生態系（鳥類）〔陸域生態系（鳥類）様式第1～3号（埋立地関連）〕

鳥類の出現種類数は、4地点合計で8目20科46種であった。

調査地点別の出現個体数についてみると、調査地点**b**が最も多く704羽であり、次いで調査地点**d**の233羽、調査地点**c**の106羽、調査地点**a**の70羽の順であった。

調査地点別の出現種類数についてみると、調査地点**b**が最も多く37種であり、次いで調査地点**a**、**c**の21種、調査地点**d**の10種の順であった。

個体数が最も多かった調査地点**b**における主要な出現種は、コアジサシ（チドリ目カモメ科）、スズガモ（カモ目カモ科）、アジサシ（チドリ目カモメ科）、ホシハジロ（カモ目カモ科）、トウネン（チドリ目シギ科）であった。

事業実施前（平成10年5月：調査地点の位置は、平成26年度調査の調査地点に同じ）に実施した鳥類調査の結果は、4地点合計で10目21科37種であり、事業実施前と比べて多くの種類が確認された。

II 事後調查結果

陸域生態系（鳥類）様式第1号（埋立地関連）

陸域生態系（鳥類）調査結果（種別出現状況）[平成27年5月分]

調査日：平成27年5月15日

目	科	種	区分	地点別出現個体数					
				a	b	c	d	計	
ペリカン	ウ	カワウ	留鳥	16	9	2	11	38	
コウノトリ	サギ	ダイサギ	留鳥		2	2		4	
		チュウサギ	旅鳥		1			1	
		コサギ	留鳥		2			2	
		アオサギ	留鳥	1	6	3		10	
カモ	カモ	マガモ	冬鳥		2			2	
		カルガモ	留鳥	2	27	10		39	
		コガモ	冬鳥		6	3		9	
		オナガガモ	冬鳥		2			2	
		ホシハジロ	冬鳥		40			40	
		スズガモ	冬鳥		54			54	
		タカ	タカ	ミサゴ	留鳥		1		1
ツル	クイナ	トビ	留鳥			1	1	2	
		バン	留鳥	2	2			4	
チドリ	チドリ	オオバン	留鳥		1			1	
		コチドリ	夏鳥	1	5			6	
シギ	シギ	シロチドリ	留鳥		4			4	
		トウネン	旅鳥		34	16		50	
		ウズラシギ	旅鳥		3			3	
		ハマシギ	冬鳥		1			1	
		アカアシシギ	旅鳥				1	1	
		キアシシギ	旅鳥	1	23	27		51	
		イソシギ	留鳥	1				1	
		ソリハシシギ	旅鳥		3			3	
		チュウシャクシギ	旅鳥	2		3		5	
		カモメ	冬鳥（一部留鳥）		25			25	
		セグロカモメ	冬鳥		2		1	3	
		ハジロクロハラアジサシ	旅鳥		3			3	
		クロハラアジサシ	旅鳥		2			2	
		アジサシ	旅鳥		47		120	167	
		コアジサシ	夏鳥	3	355	2	66	426	
		ハト	ハト	ドバト	（移入種）	4	5		
キジバト	留鳥			8		3		11	
スズメ	ヒバリ	ヒバリ	留鳥	2	2			4	
		ツバメ	夏鳥	1	1	1		3	
		セキレイ	留鳥	2	1	1	1	5	
		ヒヨドリ	留鳥	4		5		9	
		モズ	留鳥	1				1	
		ウグイス	オオヨシキリ	夏鳥		13			13
			セッカ	留鳥	1	12			13
		ヒタキ	コサメビタキ	旅鳥（一部夏鳥）			3		3
		アトリ	カワラヒワ	留鳥（一部冬鳥）		1	1	1	3
		ハタオリドリ	スズメ	留鳥	7	1	15	3	26
ムクドリ	ムクドリ	留鳥	8	2	5		15		
カラス	ハシボソガラス	ハシボソガラス	留鳥	1		1	5	7	
		ハシブトガラス	留鳥	2	4	1	24	31	
合計（8目20科46種）			目数	7	8	7	4	8	
			科数	17	17	15	7	20	
			種類数	21	37	21	10	46	
			個体数	70	704	106	233	1,113	

注) 1. 分類及び種の配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リストー平成26年度版生物リスト」（国土交通省、2015）に従った。

2. 渡りの区分は、「大阪府鳥類目録2001」（（財）日本野鳥の会大阪支部、2002）に従った。

陸域生態系（鳥類）様式第2号（埋立地関連）

陸域生態系（鳥類）調査結果（主な出現種の構成割合）[平成27年5月分]

調査日：平成27年5月15日

区分		地点別出現個体数				
		a	b	c	d	計
出現 状況	目	7	8	7	4	8
	科	17	17	15	7	20
	種	21	37	21	10	46
出現個体数		70	704	106	233	1,113
主な出現種 (個体数、 組成比率)	カワウ (16羽、22.9%)	コアジサシ (355羽、50.4%)	キアシシギ (27羽、25.5%)	アジサシ (120羽、51.5%)	コアジサシ (426羽、38.3%)	
	キジバト (8羽、11.4%)	スズガモ (54羽、7.7%)	トウネン (16羽、15.1%)	コアジサシ (66羽、28.3%)	アジサシ (167羽、15.0%)	
	ムクドリ (8羽、11.4%)	アジサシ (47羽、6.7%)	スズメ (15羽、14.2%)	ハシブトガラス (24羽、10.3%)	スズガモ (54羽、4.9%)	
	スズメ (7羽、10.0%)	ホシハジロ (40羽、5.7%)	カルガモ (10羽、9.4%)	カワウ (11羽、4.7%)	キアシシギ (51羽、4.6%)	
	ドバト (4羽、5.7%)	トウネン (34羽、4.8%)	ヒヨドリ (5羽、4.7%)	ハシボソガラス (5羽、2.1%)	トウネン (50羽、4.5%)	
	ヒヨドリ (4羽、5.7%)		ムクドリ (5羽、4.7%)			

注) 表中の主な出現種は、地点別の優占種上位5種を示した。

陸域生態系（鳥類）様式第3号（埋立地関連）

陸域生態系（鳥類）調査結果（科別出現状況）[平成27年5月分]

調査日：平成27年5月15日

調査地点 a				調査地点 b			
順位	科名	種数	優占率 (個体数%)	順位	科名	種数	優占率 (個体数%)
1	ウ	1	22.9	1	カモメ	6	61.6
2	ハト	2	17.1	2	カモ	6	18.6
3	ムクドリ	1	11.4	3	シギ	5	9.1
4	ハタオリドリ	1	10.0	4	ウグイス	2	3.6
5	シギ	3	5.7	5	サギ	4	1.6
5	ヒヨドリ	1	5.7	6	ウ	1	1.3
7	カモメ	1	4.3	6	チドリ	2	1.3
7	カラス	2	4.3	8	ハト	1	0.7
9	カモ	1	2.9	9	カラス	1	0.6
9	クイナ	1	2.9	10	クイナ	2	0.4
9	ヒバリ	1	2.9	11	ヒバリ	1	0.3
9	セキレイ	1	2.9	11	ムクドリ	1	0.3
13	サギ	1	1.4	13	タカ	1	0.1
13	チドリ	1	1.4	13	ツバメ	1	0.1
13	ツバメ	1	1.4	13	セキレイ	1	0.1
13	モズ	1	1.4	13	アトリ	1	0.1
13	ウグイス	1	1.4	13	ハタオリドリ	1	0.1

調査地点 c				調査地点 d			
順位	科名	種数	優占率 (個体数%)	順位	科名	種数	優占率 (個体数%)
1	シギ	4	44.3	1	カモメ	3	80.3
2	ハタオリドリ	1	14.2	2	カラス	2	12.4
3	カモ	2	12.3	3	ウ	1	4.7
4	サギ	2	4.7	4	ハタオリドリ	1	1.3
4	ヒヨドリ	1	4.7	5	タカ	1	0.4
4	ムクドリ	1	4.7	5	セキレイ	1	0.4
7	ハト	1	2.8	5	アトリ	1	0.4
7	ヒタキ	1	2.8				
9	ウ	1	1.9				
9	カモメ	1	1.9				
9	カラス	2	1.9				
12	タカ	1	0.9				
12	ツバメ	1	0.9				
12	セキレイ	1	0.9				
12	アトリ	1	0.9				

注) 優占率は四捨五入した値を表示しており、合計は100.0%にならないことがある。